

IBM Watson Data Platform Plan

ご利用条件 (以下「ToU」といいます。) は、本「IBM ご利用条件 – SaaS 特定オファリング条件」 (以下「SaaS 特定オファリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 – 一般条件」 (以下「一般条件」といいます。) で構成されています (URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オファリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合、「SaaS 特定オファリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」には、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスペリエンスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オファリングのご契約条件」のうち該当する契約条件 (以下「本契約」といいます。) が適用され、これらと「ToU」を合わせて完全な合意として成立します。

アプリケーションおよびサービスを構築、実行、管理するための IBM のオープン・スタンダード・クラウド・プラットフォームである IBM Bluemix は、「IBM SaaS」の技術上の前提条件です。新規ユーザーは、オンライン登録フォーム (<https://console.ng.bluemix.net/registration>) によりアクセス登録ができます。

1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オファリングに、これらの「SaaS 特定オファリング条件」が適用されます。

- IBM Watson Data Platform Plan Standard
- IBM Watson Data Platform Plan Standard Add-On

2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」で規定された以下の課金単位のいずれかに従って販売されます。

- 「**インスタンス**」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「IBM SaaS」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用することが可能な「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。

3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

3.1 1 か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された 1 か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

4. 期間および更新オプション

「IBM SaaS」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「IBM SaaS」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「IBM SaaS」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「IBM SaaS」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「IBM SaaS」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「IBM SaaS」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

5. テクニカル・サポート

「IBM SaaS」のテクニカル・サポートは、オンライン・フォーラムおよびオンライン問題報告システムを介して提供されます。IBM は、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスを規定する IBM Software as a Service Support Handbook を提供します。テクニカル・サポートは「IBM SaaS」で提供されるものであり、個別のオファリングとして利用できるものではありません。

重要度	重要度の定義	目標応答時間	対象応答時間
1	重大な事業影響/サービス・ダウン 事業上の重要な機能が作動不能である、または重要なインターフェースが機能しない状態。これは通常実稼働環境に適用され、サービスにアクセスできないことによつて業務に重大な影響が生じることを示します。この状況は、即時に解決する必要があります。	1 時間以内	1 日 24 時間週 7 日
2	著しい事業影響 サービス事業機能またはサービスの機能が著しく制限されているか、お客様が事業の最終期限に間に合わない危険にさらされている状態。	2 営業時間以内	月曜から金曜の営業時間
3	軽度の事業影響 サービスまたは機能を使用することができ、業務に重大な影響がないことを示す。	4 営業時間以内	月曜から金曜の営業時間
4	最小の事業影響 問い合わせまたは非技術的な依頼。	1 営業日以内	月曜から金曜の営業時間

6. 「IBM SaaS」オフリングの追加条件

6.1 Cookie

お客様は、IBM が「IBM SaaS」の通常の運用およびサポートの一環として、トラッキングおよびその他の技術により、「IBM SaaS」の利用に関連してお客様（お客様の従業員および従契約者）から個人情報を収集することがあることを認識し、これに同意するものとします。IBM によるこのような情報収集は、ユーザー・エクスペリエンスの向上またはお客様との対話の調整を目的とし、「IBM SaaS」の有効性について使用統計および情報を収集するために行うものです。お客様は、IBM およびその他の IBM グループ会社が、営業活動を行ういずれの地域においても、適用法に従い、IBM、その他の IBM グループ会社およびそれぞれの従契約者が収集した個人情報を上記の目的のために処理することができるよう、お客様が同意を取得すること、または取得済みであることを確認するものとします。IBM は、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従うものとします。

6.2 Derived Benefit Locations

該当する場合、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する所在地の税金が適用されます。IBM は、お客様が IBM に追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要な Benefit Location として記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新状態に保ち、変更があった場合には IBM に通知する責任を負うものとします。

6.3 個人情報および規制対象データ

本「IBM SaaS」サービスは、個人情報またはセンシティブ個人情報などの規制対象コンテンツに関する特定のセキュリティー要件に則して設計されているものではありません。お客様は、お客様が「IBM SaaS」に関連して使用するコンテンツのタイプについて、本「IBM SaaS」がお客様のニーズを満たすものかどうか判断する責任を負います。

6.4 プロビジョニングと構成の変更

お客様が購入日から 60 日以内に必要なプロビジョニング情報を IBM に提供しなかった場合、IBM はデフォルトの技術データとお客様のプロファイル情報を利用して、即時アクセスのために「IBM SaaS」を構成します。IBM はプロビジョニングの詳細をお客様に通知します。また、お客様の「PoE」には期間開始日を記載します。

「IBM SaaS」で導入された構成は、お客様の書面による要求後 30 暦日ごとに 1 回変更することができ、12 暦日以内に IBM がプロビジョニングします。

6.5 蓄積データの使用

IBM は、「IBM SaaS」に対する改善や拡張の IBM 社内における研究、テスト、および開発、またはよりカスタマイズされた有意義な経験をユーザーに提供する新サービスの開発を目的として、お客様による「IBM SaaS」の使用を監視することができます。この利用の際に、IBM は、お客様の許可ユーザーによる「IBM SaaS」の利用を反映する、集計された匿名形式の要約情報を蓄積して分析し、さらに、報告書、研究論文、分析、およびこれらの蓄積および分析から生じるその他の作業成果物(以下、総称して「蓄積データ」といいます。)を作成することができるものとします。IBM は、「蓄積データ」に対する権利を保持するものとします。

6.6 IBM SaaS for AWS に適用される条件

お客様が「AWS 用」と指定されているサービスを展開する場合には、以下の条件が適用されます。

「IBM SaaS」のアプリケーション層、ならびにお客様のデータおよびコンテンツは、IBM が運用していない、第三者クラウド・サービスのインフラストラクチャーおよびプラットフォーム上で稼動します。

「IBM SaaS」インフラストラクチャー、「IBM SaaS」プラットフォームの特定の側面、および関連サービス(データセンター、サーバー、ストレージ、ネットワーク、アプリケーションおよびデータのバックアップ、ファイアウォールおよび脅威検知、ならびにアプリケーションの展開、モニタリングおよび運用を含みます。)(以下、総称して「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」といいます。)(は第三者プロバイダーによって運営・管理されます。従って、本「ToU」、「共通条項」、「本契約」のいかなる規定にもかかわらず、以下の定めが適用されます。

- a. 本「ToU」、「共通条項」および「本契約」におけるデータ・セキュリティおよびデータ保護に関連する IBM の義務、ならびに「Data Security and Privacy Principles: IBM Cloud Services」という資料に記載された IBM のデータ・セキュリティおよびデータ保護に関するプラクティスの記述は、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に依存している範囲において、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」または、「IBM SaaS」に適用されません。「IBM SaaS」は、「保護医療情報 (PHI)」または EU に居住する個人の個人データの送信、保管、処理に使用しないものとします。
- b. 「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」のプロバイダーが、自らのサービスまたは IBM もしくはお客様にかかるサービスへのアクセスを中止または終了したことを IBM に通知した場合、IBM は、お客様に終了通知を提供することにより第三者プロバイダーによるかかる終了の効力が発生する日をもって「IBM SaaS」を即時終了できます。
- c. IBM は、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に関して、または「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」に依存している範囲において「IBM SaaS」に対して、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行わず、いかなる条件も設けず、またお客様に対して責任を負わないものとします。
- d. お客様は、以下に関して、「第三者クラウド・プラットフォーム・サービス」プロバイダーが IBM を相手に提起した請求に起因または関連するあらゆる請求、損害、損失、負債、費用、および経費(合理的な範囲の弁護士費用を含みます。)(について IBM を補償、防御し、IBM を免責することに同意します。(a) お客様による「IBM SaaS」の使用、(b) 本「TOU」、「共通条項」もしくは「本契約」の違反、またはお客様による適用法の違反、(c) お客様のコンテンツ、ならびにお客様のコンテンツとその他のアプリケーション、コンテンツまたはプロセスとの組み合わせ(お客様のコンテンツによる、またはお客様のコンテンツの使用、設計、生産、広告またはマーケティングによる、第三者の権利の侵害や濫用の申し立てがあった請求を含みます。)(、または (d) IBM およびお客様の間の紛争。

別紙 A

1. IBM SaaS の概要

1.1 IBM Watson Data Platform Plan Standard

お客様は、お客様の「IBM SaaS」使用許諾に相当する金額を上限に、記載されたサービスの組み合わせを導入できます。

IBM Watson Data Platform Plan は、下記のデータ・サービスおよび分析サービスへのアクセスをお客様に提供します。

a. IBM Analytics for Apache Spark

ビルトインの機械学習、統合されたノートブック・サービスおよび共通データ・ソースのコネクターを備えた Apache Spark サービス

- IBM Analytics for Apache Spark Reserved Enterprise

b. IBM BigInsights on Cloud

Apache Hadoop 開発の Platform as a Service

- IBM Open Platform with Apache Spark and Apache Hadoop on Cloud Small Data Node
- IBM Open Platform with Apache Spark and Apache Hadoop on Cloud Medium Data Node
- IBM Open Platform with Apache Spark and Apache Hadoop on Cloud Large Data Node
- IBM Open Platform with Apache Spark and Apache Hadoop on Cloud Small Management Node
- IBM Open Platform with Apache Spark and Apache Hadoop on Cloud Medium Management Node
- IBM Open Platform with Apache Spark and Apache Hadoop on Cloud Large Management Node
- IBM BigInsights on Cloud

c. IBM Bluemix Lift

オンプレミスのデータセンターから IBM Bluemix クラウド・データ・プロパティへ速やかに、安全に、信頼できる方法でデータベースを移行

- IBM Bluemix Lift Subscription One data Target Unlimited Inbound Data

d. IBM Cloudant

クラウド向けに構築された NoSQL データベース・プラットフォーム

- IBM Cloudant Dedicated SMB Node
- IBM Cloudant Bare Metal Node
- IBM Cloudant Virtual Machine Node
- IBM Cloudant Dedicated i2 Virtualized Node

e. IBM Compose

Web アプリケーションおよびモバイル・アプリケーションを完全に管理され、厳選されたオープン・ソース・データベース上で、統合された Database as a Platform サービスと共に実行します。

- IBM Compose Enterprise Transactional for Softlayer
- IBM Compose Enterprise Large Transactional for Softlayer
- IBM Compose Enterprise Transactional for AWS
- IBM Compose Enterprise Large Transactional for AWS

f. IBM dashDB for Analytics

分析専用のクラウド・データウェアハウス

- IBM dashDB for Analytics SMP Small
- IBM dashDB for Analytics SMP Medium

- IBM dashDB for Analytics MPP Small
 - IBM dashDB for Analytics MPP Small for AWS
- g. **IBM dashDB Enterprise for Transactions SaaS**
汎用、Web アプリ、およびトランザクション・ワークロードに最適化された、完全なマネージド SQL クラウド・データベース・サービス
- IBM dashDB Enterprise for Transactions SaaS 2.8.500
 - IBM dashDB Enterprise for Transactions SaaS 12.128.1400
- h. **IBM Data Science Experience**
データ・サイエンティストがそれぞれの生産性を向上させることのできるツールや機能をまとめたスイートを提供する統合開発環境
- IBM Data Science Experience Enterprise
 - IBM Data Science Experience Enterprise Additional
- i. **IBM Bluemix Data Connect**
開発者および IT アーキテクト向けのセルフサービスによるデータの作成とデータ移動サービス
- IBM Bluemix Data Connect Personal
 - IBM Bluemix Data Connect Professional
 - IBM Bluemix Data Connect Enterprise
- j. **IBM Streaming Analytics**
リアルタイム・データ・ソースからのデータ受信時に、そのデータを取り込み、分析し、モニターし、関連付け
- IBM Streaming Analytics Standard Plan

1.1.1 IBM DataFirst Watson Data Platform Plan Advisory Workshop

IBM DataFirst Watson Data Platform Plan Advisory Workshop は「IBM SaaS」に含まれます。このワークショップには、サービス概要、時期の見直し、マイルストーン、日付、お客様のリソース・コミットメント、ユース・ケースの確定、データ移行と継続データのソース要件に関する調査、サイジングの完成、要件の調査、プロビジョニング・フォームおよび、「IBM SaaS」のプロビジョニング全体に関するお客様による再検証と確認が含まれます。お客様は、ワークショップの完了前に、あらゆる必要なプロビジョニング・フォームを IBM に提供する必要があります。

ワークショップには、お客様の施設におけるオンサイト・アクティビティと、リモートで提供されるアクティビティの組み合わせが含まれます。こうしたアクティビティのすべては合計で 40 時間を超えません。ワークショップは、すべての時間数が使用されたか否かに関わらず、本オフリングの使用許諾の購入日から 60 日で終了します。

オンサイト・アクティビティに対するお客様の責任

IBM の成果は、以下に記載された義務のお客様による管理および遂行 (IBM に無償で提供) によって異なります。当該義務の遂行の遅延は、IBM が「IBM SaaS」をプロビジョンする能力に影響を及ぼす可能性があります。お客様は以下を行うものとします。

- a. ワークショップが実施されるお客様の施設の住所と教室の詳細を IBM に提供する。
- b. 適切な部屋を提供する。これには、適切な数のコンセント、オーバーヘッド・プロジェクターおよびホワイトボード、あるいはフリップチャート、必要なシステムや環境への接続 (必要に応じてインターネット接続を含みます。) が含まれます。
- c. 該当する場合には、安全なアクセス、適したオフィス・スペース、消耗品、備品、インターネットへの高速接続、およびお客様の施設で作業する IBM の要員のためのその他の設備を提供する。
- d. お客様の敷地においては IBM が所有するすべてのハードウェアとソフトウェアのセキュア・ストレージに対して責任を負い、すべての部屋が常時施錠されていることを確認する。

2. オプションの使用許諾

2.1 IBM Watson Data Platform Plan Standard Add-On

お客様は、第 1 条に記載されたデータ・サービスおよび分析サービスをさらに展開する能力を提供する、IBM Watson Data Platform Plan Standard Add-On のサブスクリプションを購入できます。

3. オファリング固有の条件

以下の条項では、「IBM SaaS」の一部として利用可能な個々のオファリングに関連する条件の概要が記載されています。「ToU」と矛盾する場合は、以下の条件が適用されます。以下の条項において、「IBM SaaS」の参照は、IBM Watson Data Platform Plan ではなく、個々のオファリングを参照します。

3.1 IBM Analytics for Apache Spark

IBM Analytics for Apache Spark は、オンデマンドでアクセス可能な、管理された Spark 環境を提供します。このサーバーにより、お客様は Apache Spark の次世代の機能にアクセスできます。ユーザーは試しに小規模の容量から始めて、開発用に容量を増やし、その後で本番にまで拡張することができます。すべて同じ環境内で可能です。このサーバーはすぐに分析に対応できるので、セットアップの障害をスキップでき、お客様の Spark の取り組みを迅速に開始できます。

「IBM SaaS」は、定量の「Spark Executors」の形式で一定の容量を定義します。各「Executor」には、メモリー 12.5 GB および 1 つの物理 CPU コア (または同等物) のプロセッサを最大仕様として、Spark クラスタにより計算リソースの一部が割り当てられます。容量は、「IBM SaaS」の複数インスタンスを追加することで増やせます。

IBM Analytics for Apache Spark Reserved Enterprise オファリングには、最大 30 の「Spark Executor」が含まれます。

3.1.1 セキュリティー情報

プライバシー・シールド

本「IBM SaaS」は、IBM プライバシー・シールド認定に含まれ、お客様が米国に在るデータセンターでホスティングされることを選択した場合に IBM の Privacy Shield Policy (http://www.ibm.com/privacy/details/us/en/privacy_shield.html に掲載) が適用されます。

3.2 IBM BigInsights on Cloud

IBM BigInsights on Cloud は、プリインストールされているベアメタル・サーバーにすぐに使用することのできる IBM Open Platform およびオプションのモジュールを提供します。この基本オファリングには以下のインフラストラクチャー・フィーチャーが含まれています。

- ハードウェア・サーバー
- ネットワーキング・インフラストラクチャー
- インターネット向けファイアウォール
- オペレーティング・システム 1 つ
- LDAP サーバー 1 台
- メタデータ DB
- Hadoop Key Management Store

「IBM SaaS」は、IBM Open Platform with Apache Spark and Apache Hadoop のオープン・ソース・パッケージをベースとしています。

- a. IBM BigInsights on Cloud は、データ・ノードおよび管理ノードの構成を提供します。どのクラスターにも管理ノードとデータ・ノードが必要です。データ・ノードは分析対象のデータを保持して、当該データを分析するためにお客様が開発したプログラムを実行します。当該データ (「IBM SaaS」の一部として、IBM が将来提供する可能性のあるデータは除きます。) ならびに許可されているソフトウェア、プログラムおよびアプリケーション (下記の「お客様の義務」の項を参照) は、お客様が提供するものとします。

- b. 管理ノードは各種サービス (NameNode、ジョブ・トラッカー、管理コンソール、HBase マスターなど) で構成され、あらゆるデータ・ノード (datanode、Hbase 領域、タスク・トラッカーなど) 上でサービスを管理、モニタリングする際に役立ちます。

IBM BigInsights on Cloud は、お客様のニーズに最も適した構成に基づいて提供されます。当該ノードについて利用可能な構成は、以下のとおりです。

オフリング・タイプ	小規模構成	中規模構成	大規模構成
データ・ノード	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 x 10 コア 2650 v3 Sandy Bridge ● 64 GB RAM ● 16 TB (OS ディスク) ● 20 TB (内部ストレージ・ディスク) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 x 10 コア 2650 v3 Sandy Bridge ● 128 GB RAM ● 16 TB (OS ディスク) ● 28 TB (内部ストレージ・ディスク) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 x 12 コア 2690 v3 Sandy Bridge ● 256 GB RAM ● 16 TB (OS ディスク) ● 32 TB (内部ストレージ・ディスク)
管理ノード	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 x 10 コア 2650 v3 Sandy Bridge ● 64 GB RAM ● 16 TB (OS ディスク) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 x 10 コア 2650 v3 Sandy Bridge ● 128 GB RAM ● 16 TB (OS ディスク) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 x 12 コア 2690 v3 Sandy Bridge ● 256 GB RAM ● 16 TB (OS ディスク)

IBM BigInsights on Cloud

本オフリングには以下のフィーチャーが含まれます。

- Big R
- 機械学習
- テキスト分析
- Big SQL
- BigSheets

3.2.1 セキュリティー情報

プライバシー・シールド

本「IBM SaaS」は、IBM プライバシー・シールド認定に含まれ、お客様が「IBM SaaS」を米国に在るデータセンターでホスティングされることを選択した場合に IBM の「Privacy Shield Privacy Policy」(http://www.ibm.com/privacy/details/us/en/privacy_shield.html に掲載) が適用されます。

3.2.2 Twitter データ

a. 定義

分析レポート - 「Twitter コンテンツ」からの情報を分析して派生させるプロセスから、「IBM SaaS」におけるお客様のアプリケーションで作成される結果または出力をいいます。かかる結果には「Twitter コンテンツ」を含むことはできませんが、検索語や「ツイート」の主題に関する言及など、「Twitter コンテンツ」内のものに複製できるコンテンツを含むことができます。

ツイート ID - 各「ツイート」に対して Twitter が生成する一意の識別番号をいいます。

ツイート - Twitter サービスのエンド・ユーザーが行う、140 文字以内のテキスト本文での公開投稿をいいます。

Twitter コンテンツ - 「ツイート」および「ツイート ID」、Twitter のエンド・ユーザーの公表されているプロフィール情報、およびそれらの派生的なものをいいます。

b. Twitter コンテンツのアクセスと利用

「IBM SaaS」は、お客様が「IBM SaaS」内で単独で利用するために、お客様が「Twitter コンテンツ」を選択し、これにアクセスする手段を提供します。「Twitter コンテンツ」は、IBM が所有または管理するものではありません。「Twitter コンテンツ」には、違法な素材、不正確な素材、誤解を招く素材、わいせつな素材、またはその他好ましくない素材が含まれることがあります。IBM ま

たは IBM サプライヤーは、「Twitter コンテンツ」についてレビュー、フィルタリング、確認、編集または削除を行う義務を一切負うものではありません。ただし、IBM または IBM サプライヤーは、その裁量でこれを行うことができます。お客様は、IBM の要求を受けて、「IBM SaaS」に保存できる「ツイート」を迅速に削除または変更することに同意するものとします。

c. Twitter データの量

お客様が、「IBM SaaS」の一部として最小 15 ノードを含む 1 つの「IBM SaaS」構成に対して使用許諾を取得している場合、お客様は「Twitter コンテンツ」にアクセスすることができます。

d. Twitter コンテンツに関する制限

お客様は以下を行わないものとします。

- プライバシーに関する法律を含め適用されるあらゆる法令に違反する「Twitter コンテンツ」の利用または不正なもしくは不適切な目的での「Twitter コンテンツ」の利用。
- 「IBM SaaS」からの「Twitter コンテンツ」のダウンロードまたは削除。ただし、「分析レポート」は「IBM SaaS」からダウンロードまたは、削除することができます。
- 「IBM SaaS」に含まれている「Twitter コンテンツ」を第三者に提供すること。
- 「IBM SaaS」で認められている限定目的以外の目的で「Twitter コンテンツ」を利用すること。
- 「ツイート・コンテンツ」に含まれるロケーション・データまたは地理情報を、それが関係する「ツイート」と別個に集約したり、キャッシュに入れたり、保存したりすること。または、「ツイート」にタグ付けされているロケーションを特定する以外の理由のために「Twitter コンテンツ」に含まれるロケーション・データまたは地理データを利用すること。
- 「Twitter コンテンツ」とその他のデータを混合すること。ただし、「Twitter コンテンツ」が Twitter に帰属することが 100% 明白である場合は除きます。
- 「IBM SaaS」の一部として提供された「Twitter コンテンツ」を利用して、違法または差別的な目的のために少人数のグループや個人について分析を実行すること。
- 「IBM SaaS」の一部としてお客様がアクセスを認められた「Twitter コンテンツ」を表示すること。
- 広告ネットワークの一部として、「IBM SaaS」内で「Twitter コンテンツ」を使用すること、またはそこから分析すること。
- 分析を行うことを目的として「Twitter コンテンツ」を利用すること。この場合の分析とは、テレビ番組のパフォーマンスを経時的に比較するため、またはその他のテレビ番組の所定のセットもしくはサブセットに照らして比較するためのものと同様または類似の方法を用いて行われる、定期的に提示される時間ベースの一連の測定を実行することをいいます。
- 何らかの目的のために「IBM SaaS」の一部として「Twitter コンテンツ」にアクセスしてそれを利用すると同時に、取得した Twitter ユーザー・メトリック (ユーザーまたはアカウントの数) の総計を使用すること。

e. IBM による終了

お客様による「Twitter コンテンツ」へのアクセスおよび利用は、「IBM SaaS」の終了時に終わるものとします。

上述にかかわらず、本契約に規定される中断および終了に関する権利に加え、IBM は通知することなく、またお客様に返金、クレジット、その他の補償をする義務はなく、いつでも「Twitter コンテンツ」へのアクセスの提供を終了することができます。

f. Twitter コンテンツの保証および補償に関する免責事項

本契約に規定されている保証にかかわらず、「Twitter コンテンツ」はすべての誤りを含む「現状」のまま、かつ、何らの保証も伴わず提供され、お客様は自己責任において「Twitter コンテンツ」を利用するものとします。IBM は、その他一切の明示または黙示の保証を行わず、本書によりいかなる責任も負わないものとします。ここでいう保証には、商品性の保証、品質保証、性能保証、特定目的適合性の保証、法律上の瑕疵担保、権原にかかわるあらゆる黙示の保証、および「Twitter コン

テンツ」の取引上、利用上、もしくは商慣習上の、または「Twitter コンテンツ」に関連するあらゆる保証が含まれます。IBM は、「Twitter コンテンツ」へのアクセスについて、中断されないことや誤りがないことを保証するものではありません。この保証に関する免責事項は、一部の国の法律では無効な場合があり、お客様には本免責事項により制限されない法律上の権利が保証されます。かかる保証は、(かかる法律によりその他の規定がある場合を除き) 本契約の発効日から 30 日間のみ適用されます。本契約に規定される、IBM のお客様に対する補償責任は、「Twitter コンテンツ」のお客様によるアクセスおよび利用に対しては一切適用されません。

g. 米国政府による使用

アメリカ合衆国のみ適用: 「Twitter コンテンツ」は、48 C.F.R. の 2.101 に定義される「商品 (commercial Items)」となります。この「商品」は、48 C.F.R. の 12.212 で使用される用語でいうところの「商用コンピューター・ソフトウェア (Commercial Computer Software)」および「商用コンピューター・ソフトウェア文書 (Commercial Computer Software Documentation)」で構成されます。

「Twitter コンテンツ」の政府機関による使用、変更、派生、複製、リリース、パフォーマンス、表示、開示または配布は、本「ToU」で明示的に許可されている場合を除き、すべて禁止されています。さらに、米国政府機関による使用は、48 C.F.R. の 12.212 および 48 C.F.R. の 227.7202-1 から 227.7202-4 までを遵守する必要があります。お客様が、米国の州政府または地方自治体の機関の従業員または代理としてのお客様の公的な立場で「Twitter コンテンツ」を使用する場合で、お客様が本書の裁判管轄、裁判地、またはその他の条項を受諾することができない場合には、かかる条項は当該機関には適用されません。ただし、適用法で要求される範囲に限るものとします。契約者/製造者は Twitter, Inc. (1355 Market Street, Suite 900, San Francisco, California 94103) です。

3.2.3 お客様の義務

以下は、お客様の責任となります。

- IBM Open Platform コンポーネントおよび選択された BigInsights モジュールについて IBM が行った初期構成に従い、Ambari および BigInsights モジュールのもとで稼働する IBM Open Platform コンポーネントのモニタリング、構成、および管理を実行すること。こうしたコンポーネントおよびソフトウェアの例には、HBase、Hive、Zookeeper、Oozie、BigSQL、BigSheets、Big R などがありますが、これらに限られません。お客様は実行すべきコンポーネントを柔軟に選択できますが、それゆえ、こうしたコンポーネントのモニタリングや停止と始動に責任を負うものとします。
- 「IBM SaaS」のクラスターがプロビジョニングされた後に提供される URL、ユーザー名およびパスワードを共有し、(LDAP での入力により) アクセスを付与したり取り消したりすることで、お客様の組織のメンバーによる「IBM SaaS」へのアクセスを制限すること。
- 必要に応じて、または要求に応じて、データを分析し、そのデータから知見を得るためにプログラムやアプリケーションをサービスで開発すること。お客様は、かかる開発されたプログラムや開発されたアプリケーションの品質およびパフォーマンスについても責任を負うものとします。
- お客様により、またはお客様に代わってクラスターに追加された許可されるソフトウェアまたはデータの使用および保守。IBM は支援を提供することがありますが、区分を埋める、あるいは、サービスの機能に影響を及ぼす、お客様が追加した許可されるソフトウェアおよびデータの保守、移動、または削除は行いません。
- 「SaaS」で利用可能な Hadoop データ暗号化フィーチャーを使用してビジネス要件に従ってデータを暗号化すること。
- 予定されている非中断型または中断型のダウンタイムについて情報を得るために定期的に以下のリンクを確認すること – <https://developer.ibm.com/bluemix/support/#status>。
- 継続性を確保するためにすべてのデータ、メタデータ、構成ファイルおよび環境パラメーターをビジネス要件に従ってバックアップすること。
- これに限らないもののデータセンターや POD の障害、サーバー障害またはハード・ディスク障害もしくはソフトウェア障害を含むあらゆるタイプのクラスター障害が発生した場合に、データ、メタデータ、構成ファイルおよび環境パラメーターをバックアップから復元して継続性を確保すること。

- 許可されるソフトウェア (オープン・ソース・パッケージを含みます。) をインストール後に「IBM SaaS」プラットフォームの継続性、互換性および性能を確保すること、または IBM Open Platform コンポーネントもしくは BigInsights ソフトウェアをアップグレードすること。

お客様は以下を行うことができます。

- プリインストールされた IBM Open Platform または BigInsights ソフトウェアによるデータの分析を実行またはサポートするために必要な「IBM SaaS」上での、ソフトウェアのインストールと実行のみを行うこと。お客様は、「IBM SaaS」上でその他いかなるタイプのソフトウェアのインストール、使用も禁止されています。
- ノード上で「IBM SaaS」と併用するために追加のオープン・ソース・パッケージをインストールすること。IBM には、かかるパッケージをサポートする義務はなく、かかる追加パッケージに起因する「IBM SaaS」のパフォーマンスへの影響に対して責任を負うものではありません。お客様がインストールしたソフトウェアについて IBM がインフラストラクチャー、サーバーまたは環境に関するセキュリティーもしくはセキュリティー遵守ガイドラインに反するものと判断した場合、IBM はそれを無効化または削除する場合があります。

3.2.4 IBM の運用責任

「IBM SaaS」の一部として、IBM は以下を行います。

- クラスタ向けのサーバー、ストレージおよびネットワーキング・インフラストラクチャーを提供して管理します。
- IBM Open Platform コンポーネントおよび選択された BigInsights モジュールの初期構成を提供します。
- 保護および分離のためにインターネット向けおよび社内のファイアウォールを提供して管理します。
- 「IBM SaaS」に関して以下のコンポーネントをモニターして管理します。
 - ネットワーク・コンポーネント
 - サーバーおよびそれぞれのローカル・ストレージ
 - オペレーティング・システム
 - Hadoop Key Management Store
 - Hadoop クラスタに関する LDAP
 - Ambari クラスタ・マネージャー
- 保守用パッチを提供します。これには、オペレーティング・システム、IBM Open Platform、および選択された BigInsights モジュールに対応した適切なセキュリティー・パッチが含まれます (ただし、お客様が別途追加したソフトウェアやコンポーネントには対応しません)。

システム・ダウンタイムを必要としない定期保守 (「非中断型」保守) および多少のシステム・ダウンタイムやリスタートが必要になる可能性のある保守が、<https://developer.ibm.com/bluemix/support/#status> で公開されている予定時刻に実行されます。保守の予定時刻の変更は、少なくとも 24 時間前に事前通告されます。追加の予定ダウンタイムについては少なくとも 24 時間前にお客様に通知されます。

3.2.5 イネーブリング・ソフトウェア

以下の IBM ソフトウェア使用許諾は、下記の制限に加えて、それぞれ該当する IBM プログラム・ライセンスの条件に基づいて使用できるソフトウェアとして含まれます。

InfoSphere DataStage

- 使用許諾: 280 PVU (InfoSphere DataStage の「ライセンス情報」資料の定義どおり)
- 使用制限: お客様は、「IBM SaaS」にデータを読み込むためののみ InfoSphere DataStage を使用することができます。

InfoSphere DataStage and QualityStage Designer

- 使用許諾: 同時ユーザー 2 名 (InfoSphere DataStage and QualityStage Designer の「ライセンス情報」資料の定義どおり)
- 使用制限: お客様は、「IBM SaaS」にデータを読み込むためにのみ InfoSphere DataStage and QualityStage Designer を使用することができます。

3.2.6 暗号化

ユーザー・データの暗号化の主な方法は、Hadoop で利用可能なネイティブ HDFS 暗号化によるものです。お客様は、暗号化の対象となるデータを特定し、データが暗号化されていることを確認するのに必要なステップを実行する責任を負います。

3.2.7 個人情報および規制対象データ

「IBM SaaS」は、1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA) に基づいて保護されている保護医療情報 (PHI) の伝送または保存のために使用することはできません。ただし、(a) IBM とお客様が適用される「Business Associate Agreement」を締結している場合、および (b) IBM がお客様に「IBM SaaS」が PHI とともに使用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「PHI」を処理するために「IBM SaaS」を使用しないものとします。

3.3 IBM Bluemix Lift

IBM Bluemix Lift はクラウド・ベース・サービスで、これを使用することでお客様は専用のオンプレミス・データセンターからクラウド・データ・プロパティへデータベースを移行できます。

3.3.1 IBM Bluemix Lift One Data Target Unlimited Inbound Data

「IBM SaaS」は、IBM クラウド・データ・オフリングの対象にインバウンドで伝送された無制限の量のデータをサポートします。「IBM SaaS」の各「インスタンス」は、単一のクラウド・データベース・ターゲット・インスタンスまたは単一の超並列処理 (MPP) ターゲット・データベース・クラスターのみと共に使用できます。お客様は、単一の「IBM SaaS インスタンス」を複数のデータベースのターゲット・インスタンスやターゲット・クラスターと共に使用することはできません。さらに、「IBM SaaS」は IBM クラウド・データベース・オフリングと共にのみ使用できます。

3.3.2 イネープリング・ソフトウェア

この「IBM SaaS」には、以下のイネープリング・ソフトウェアが含まれます。

- IBM Secure Gateway for Bluemix
- IBM Bluemix Lift Slingshot

3.3.3 セキュリティー情報

プライバシー・シールド

本「IBM SaaS」は、IBM プライバシー・シールド認定に含まれ、お客様が「IBM SaaS」を米国に在るデータセンターでホスティングされることを選択した場合に IBM の「Privacy Shield Privacy Policy」(http://www.ibm.com/privacy/details/us/en/privacy_shield.html に掲載) が適用されます。

3.4 IBM Compose

「IBM SaaS」は、Softlayer でホストされる IBM のマネージド・サービスとして、「Compose Data Platform」を提供します。「インスタンス」は専用の 3 ノード・クラスターで構成され、お客様は、「インスタンス」のキャパシティーの範囲内で、Compose のデータ・サービス (以下を含みますが、これらに限定されません。) を任意に組み合わせてプロビジョニングし、それらを運用することができます。

- MongoDB
- Elasticsearch
- Redis
- PostgreSQL
- RethinkDB
- etcd

- RabbitMQ

お客様は、「IBM SaaS」を第三者サービス(以下が含まれますが、これらに限定されません。)と統合することもできます。

- New Relic

「IBM SaaS」は、MeetMe Inc. のエージェントを使用して、New Relic のプラグイン API と統合し、詳細な分析および監視を可能にします。この機能は、MongoDB、Redis、PostgreSQL および Elastic Search で利用可能です。お客様は、New Relic に直接、登録する責任を負います。

- Syslog-NG

この機能は、Syslog-NG を通じて、外部のログ・プロバイダーにログを転送します。

3.4.1 IBM Compose Enterprise Transactional for Softlayer

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。

- ベアメタル・サーバー (Intel Xeon E5-2690 (8 コア、2.90 GHz)、vCPU 16 個、64GB RAM、960GB SSD (RAID1) x 2 基、パブリック・ネットワークおよびプライベート・ネットワークのアップリンク 2x1Gbps (ボンディング))

3.4.2 IBM Compose Enterprise Large Transactional for Softlayer

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。

- ベアメタル・サーバー (Dual Intel Xeon E5-2690 v3 (12 コア、2.60 GHz)、256GB RAM、OS 用に 1TB SATA (RAID1) x 2 基、4TB RAID 10 SSD、パブリック・ネットワークおよびプライベート・ネットワークのアップリンク 2x10Gbps (ボンディング))

3.4.3 IBM Compose Enterprise Transactional for AWS

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。

- 仮想サーバー r3.2xlarge (Intel Xeon E5-2670 v2 (Ivy Bridge)、vCPU 8 個、61GB RAM、915GB GP SSD EBS)

3.4.4 IBM Compose Enterprise Large Transactional for AWS

3 ノード・クラスター。各ノードは以下のとおりです。

- 仮想プライベート・サーバー r3.8xlarge (Intel Xeon E5-2670 v2 (Ivy Bridge)、vCPU 32 個、244GB RAM、3.66TB GP SSD)

3.4.5 サービスのキャパシティー

「インスタンス」のキャパシティーは、サービスの「デプロイメント」の種類および数量によって異なります。「デプロイメント」とは、「IBM SaaS」の「インスタンス」に導入されたサポート対象のデータ・サービスの各インスタンスと定義されます。各データ・サービスには、割り当てられる RAM、ディスクおよび IOP 間の配分が設定されており、HA レプリケーション・アーキテクチャーは、サービスによって異なります。MongoDB、Elasticsearch、PostgreSQL および RethinkDB では、ディスク 1GB あたり 1GB RAM、Redis では、ディスク 256M あたり 256MB RAM、etcd および RabbitMQ では、ディスク 1GB あたり 256MB RAM が設定されています。

新たなサービスの「デプロイメント」については、既存の「デプロイメント」への「インスタンス」の RAM の割り当てが 80% になるまでインスタンス化することができます。この時点で、既存の「デプロイメント」は、RAM が利用できる範囲で、引き続き拡張が可能です。

導入されたデータベースの数量および種類に基づいてキャパシティーを算出するための、インタラクティブなサイジング・ツールが利用可能です。

3.4.6 Public Pay As You Go サービスへのアクセス

お客様は、「IBM SaaS」から Compose.io の Pay As You Go (PayGo) サービスにアクセスすることができます。この PayGo サービスは、「IBM SaaS」に含まれておらず、Compose, Inc. の Terms of Service (<https://help.compose.io/docs/terms-of-service/> に掲載) が適用されます。PayGo サービスの使用については、IBM Company である Compose, Inc. から直接請求されます。

3.5 IBM Cloudant Dedicated Cluster

以下の基本機能は、以下の各「IBM SaaS」オファリングに含まれています。

- お客様は、JavaScript Object Notation (JSON) データベースである IBM Cloudant Data Layer ソフトウェアへのアクセスを受け取ります。このソフトウェアには、1 つの Cloudant RESTful API 経由でデータを保存して取得したり、クライアントやモバイルの SDK ライブラリー、組み込みのフルテキスト索引作成、マルチマスター・レプリケーション、MapReduce によるリアルタイム分析にアクセスする機能が組み込まれています。
- 「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに、IBM は IBM Cloudant Data Layer ソフトウェア・コンポーネントを 1 つのサーバー上にインストールして構成します。各サーバーは、サポート対象の IaaS (Infrastructure as a Service) プロバイダーのデータセンターに配置されます。お客様は、IBM が定義するリストから IaaS プロバイダーおよびデータセンターのロケーションを選択することができます。
- お客様は、クラスターあたり少なくとも 3 つの「インスタンス」を取得する必要があります。IBM は、関連するサーバーを 1 つもしくは複数のクラスターに配置します。IBM は、その裁量により、システム・ワークロードを制御するために 1 つまたはそれ以上のロード・バランサーを構成します。

3.5.1 IBM Cloudant Bare Metal Node

上述の基本機能に加えて、以下がこの「IBM SaaS」オファリングに適用されます。

- 「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに、お客様は、お客様のアクティビティー専用のサーバー 1 台に対してアクセスを受け取ります。このサーバーは、他のお客様と共有されることはありません。

3.5.2 IBM Cloudant Dedicated SMB Node

上述の基本機能に加えて、以下がこの「IBM SaaS」オファリングに適用されます。

- 「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに、お客様は、お客様のアクティビティー専用のサーバー 1 台に対してアクセスを受け取ります。このサーバーは、他のお客様と共有されることはありません。

3.5.3 IBM Cloudant Virtual Machine Node

上述の基本機能に加えて、以下がこの「IBM SaaS」オファリングに適用されます。

- 「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに、お客様は、仮想インスタンスとして構成されるサーバー 1 台に対してアクセスを受け取ります。この仮想インスタンスではハードウェアおよびネットワークのリソースを他のお客様と共有しますが、この仮想インスタンスはお客様専用です。

3.5.4 IBM Cloudant Dedicated i2 Virtualized Node

上述の基本機能に加えて、以下がこの「IBM SaaS」オファリングに適用されます。

- 「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに、お客様は、仮想インスタンスとして構成されるサーバー 1 台に対してアクセスを受け取ります。この仮想インスタンスではハードウェアおよびネットワークのリソースを他のお客様と共有しますが、この仮想インスタンスはお客様専用です。

3.5.5 テクニカル・サポート

テクニカル・サポートは「IBM SaaS」に含まれ、別個のオファリングとして提供されるものではありません。Cloudant Dedicated のお客様は、1 時間の応答時間で 1 日 24 時間 週 7 日電子メールによるサポートを受ける資格があります。

利用可能な時間、電子メール・アドレス、オンライン問題報告システム、問題の優先順位および重要度、ならびにその他のテクニカル・サポートに関するご利用方法や手順に関する詳しい情報は、IBM Software as a Service (SaaS) Support Handbook の IBM Cloudant セクションに記載されています。

3.5.6 セキュリティー情報

プライバシー・シールド

本「IBM SaaS」は、IBM プライバシー・シールド認定に含まれ、お客様が「IBM SaaS」を米国に在るデータセンターでホスティングされることを選択した場合に IBM の「Privacy Shield Privacy Policy」(http://www.ibm.com/privacy/details/us/en/privacy_shield.html に掲載) が適用されます。

3.5.7 個人情報および規制対象データ

「IBM SaaS」は、1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA) に基づいて保護されている保護医療情報 (PHI) の伝送または保存のために使用することはできません。ただし、(a) IBM とお客様が適用される「Business Associate Agreement」を締結している場合、および (b) IBM がお客様に「IBM SaaS」が PHI とともに使用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「PHI」を処理するために「IBM SaaS」を使用しないものとします。

3.6 IBM dashDB for Analytics

3.6.1 IBM dashDB for Analytics SMP オファリング

IBM dashDB for Analytics SMP オファリングは、オンライン分析アプリケーション処理の開発を支援するマネージド・サービスです。このサービスには、構造化形式でユーザー・データを保管するデータベースが含まれます。本データベースは、サービスのコンソールを介してユーザーの要件に従ってアクセスすることおよびモデル化することができます。サービスのコンソールにより、ユーザーは、テーブルの作成、テーブルへのデータのロード、およびユーザーがロードしたデータの照会を行うことができます。分析レポートの作成、保管、共有を支援するツールおよび環境は、サービスに含まれます。サービスには、オンライン分析アプリケーションの作成を支援するサンプルおよび文書が含まれています。

a. IBM dashDB for Analytics SMP Small

64GB RAM、16 vCPU の専用サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つのデータベース

b. IBM dashDB for Analytics SMP Medium

256GB RAM、32 コアの専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つのデータベース。

3.6.2 IBM dashDB for Analytics MPP オファリング

IBM dashDB for Analytics MPP オファリングは、IBM dashDB for Analytics サービスのクラスター構成であり、単一システムとして一緒に管理される独立したデータベース・ノードのセットを構成します。データベース運用は、すべてのデータベース・ノード間で並列処理されます。IBM は、関連するノードを 1 つのクラスターに構成します。

a. IBM dashDB for Analytics MPP Small

ノードごとに 256GB RAM、24 コアを持つ専用ベアメタル・サーバー・ノード上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つのデータベース。

b. IBM dashDB for Analytics MPP Small for AWS

ノードごとに 244GB RAM、32 vCPU を持つ専用サーバー・ノード上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つのデータベース。

3.6.3 イネーブリング・ソフトウェア

以下の IBM ソフトウェア使用許諾は、下記の制限に加えて、それぞれ該当する IBM プログラム・ライセンスの条件に基づいて使用できるソフトウェアとして含まれます。

InfoSphere DataStage

- 使用許諾: 280 PVU (InfoSphere DataStage の「ライセンス情報」資料の定義どおり)
- 使用制限: お客様は、「IBM SaaS」にデータを読み込むためにのみ InfoSphere DataStage を使用することができます。

InfoSphere DataStage and QualityStage Designer

- 使用許諾: 同時ユーザー 2 名 (InfoSphere DataStage and QualityStage Designer の「ライセンス情報」資料の定義どおり)
- 使用制限: お客様は、「IBM SaaS」にデータを読み込むためにのみ InfoSphere DataStage and QualityStage Designer を使用することができます。

3.6.4 セキュリティー

a. プライバシー・シールド

本「IBM SaaS」は、IBM プライバシー・シールド認定に含まれ、お客様が「IBM SaaS」を米国に在るデータセンターでホスティングされることを選択した場合に IBM の「Privacy Shield Privacy Policy」(http://www.ibm.com/privacy/details/us/en/privacy_shield.html に掲載) が適用されます。

b. 個人情報および規制対象データ

「IBM SaaS」は、1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA) に基づいて保護されている保護医療情報 (PHI) の伝送または保存のために使用することはできません。ただし、(a) IBM とお客様が適用される「Business Associate Agreement」を締結している場合、および (b) IBM がお客様に「IBM SaaS」が PHI とともに使用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「PHI」を処理するために「IBM SaaS」を使用しないものとします。

c. ユーザー管理

「IBM SaaS」のプロビジョニングの際に、1 人の管理ユーザーがお客様のために作成されます。dashDB コンソールでは、追加のユーザーを作成する機能が管理ユーザーに提供されます。お客様は、コンソールによって定義されたユーザー、およびユーザーに割り当てられたアクセスのレベルを管理する責任を全面的に負うものとします。

d. 「IBM SaaS」のデータ・ストアに対する直接アクセス

管理ユーザーおよび標準ユーザーのどちらも、「IBM SaaS」の外部で実行される IBM DB2 クライアント・プログラムを使用して、「IBM SaaS」のデータ・ストアに直接アクセスすることができます。お客様は、お客様の要件に従って、かかるアクセスがセキュリティー保護されるようにする責任を全面的に負うものとします。例えば、お客様は、ネットワーク・トラフィックの保護のために SSL が使用されるように、クライアントを設定することができます。

e. テーブル・レベルのアクセス制御

本「IBM SaaS」では、お客様は、テーブルなどの一定のデータベース・オブジェクトに関連するアクセス権限を管理することができます。お客様は、かかるアクセス権限について、割り当て、管理、および見直しを行う責任を全面的に負うものとします。

f. 監査報告

監視報告は、dashDB のコンソールを介してお客様に提供されます。お客様は、反映したアクティビティが許可されているかどうかを判断するために、報告書にアクセスし、解釈する責任を全面的に負うものとします。

g. 暗号化

「IBM SaaS」のデータベースは自動的に暗号化されます。暗号化には、256 ビット長の鍵を伴う、Cipher-Block Chaining (CBC) モードによる Advanced Encryption Standard (AES) が使用されます。また、データベースのバックアップ・イメージは、自動的に圧縮および暗号化されます。バックアップ・イメージは、256 ビット長の鍵を伴う、CBC モードによる AES を使用して暗号化されます。

3.6.5 ベータ機能

「IBM SaaS」の一部の機能、フィーチャーまたはコンポーネントは早期リリースまたはテクノロジーのプレビュー版で、「IBM SaaS」内で「ベータ」として特定されることがあります。(以下「ベータ機能」といいます。) これらの「ベータ機能」は、本項の制限および条件を前提として、「IBM SaaS」のお客様の許可された使用の一部として利用することができます。「ベータ機能」の使用はお客様自身の責任であり、いかなる種類のサポートの義務も伴わず提供されます。「ベータ機能」は、「現状有姿」で提供され、明示もしくは黙示のいかなる保証責任も負わないものとします。これには権原保証責任、権利の不侵害または不干渉に関する保証責任および商品性、特定目的適合性に関する黙示的保証または条件を含みますが、これに限定されません。「ベータ機能」は、IBM によって、製品もしくはオフリングとして、または製品もしくはオフリングに組み込まれて一般出荷可能になっていない場合があります。IBM は、いつでも事前の通知なく、「ベータ機能」へのアクセスを中止または終了することができます。

お客様は、「ベータ機能」を使用できなくなった場合に起こりうるデータの損失を回避するため、予防措置を講じるものとします。IBM に対しお客様が提供した「ベータ機能」に関するフィードバックまたは提案は、IBM の製品およびサービスの開発、配布、展開および販売において、自由に使用、複製、変更でき、また組み込むことができます。

3.7 IBM dashDB Enterprise for Transactions SaaS

dashDB Enterprise for Transactions SaaS プランでは、オンライン・トランザクション処理 (OLTP) 用に最適化された dashDB データベースが提供されます。このサービスには、構造化形式でユーザー・データを保管するデータベースが含まれます。本データベースは、サービスのコンソールを介してユーザーの要件に従ってアクセスすることおよびモデル化することができます。サービスのコンソールにより、ユーザーは、テーブルの作成、テーブルへのデータのロード、およびユーザーがロードしたデータの照会を行うことができます。

3.7.1 IBM dashDB Enterprise for Transactions SaaS 2.8.500

8GB RAM および 2 vCPU の専用サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つの SQL データベース。データおよびログ用に最大 500 GB のストレージを提供します。

3.7.2 IBM dashDB Enterprise for Transactions SaaS 12.128.1400

128GB RAM および 12 コアの専用ベアメタル・サーバー上のサービス「インスタンス」ごとに 1 つのデータベース。データおよびログ用に最大 1400GB の SSD ストレージを提供します。

3.8 セキュリティ情報

a. プライバシー・シールド

本「IBM SaaS」は、IBM プライバシー・シールド認定に含まれ、お客様が「IBM SaaS」を米国に在るデータセンターでホスティングされることを選択した場合に IBM の「Privacy Shield Privacy Policy」(http://www.ibm.com/privacy/details/us/en/privacy_shield.html) に掲載) が適用されます。

b. 個人情報および規制対象データ

「IBM SaaS」は、1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA) に基づいて保護されている保護医療情報 (PHI) の伝送または保存のために使用することはできません。ただし、(a) IBM とお客様が適用される「Business Associate Agreement」を締結している場合、および (b) IBM がお客様に「IBM SaaS」が PHI とともに使用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。いかなる場合も、HIPAA の意義の範囲内で医療情報センターとして「PHI」を処理するために「IBM SaaS」を使用しないものとします。

c. ユーザー管理

「IBM SaaS」のプロビジョニングの際に、1 人の管理ユーザーがお客様のために作成されます。dashDB コンソールでは、追加のユーザーを作成する機能が管理ユーザーに提供されます。お客様は、コンソールによって定義されたユーザー、およびユーザーに割り当てられたアクセスのレベルを管理する責任を全面的に負うものとします。

d. 「IBM SaaS」のデータ・ストアに対する直接アクセス

管理ユーザーおよび標準ユーザーのどちらも、「IBM SaaS」の外部で実行される IBM DB2 クライアント・プログラムを使用して、「IBM SaaS」のデータ・ストアに直接アクセスすることができます。お客様は、お客様の要件に従って、かかるアクセスがセキュリティ保護されるようにする責任を全面的に負うものとします。例えば、お客様は、ネットワーク・トラフィックの保護のために SSL が使用されるように、クライアントを設定することができます。

e. テーブル・レベルのアクセス制御

本「IBM SaaS」では、お客様は、テーブルなどの一定のデータベース・オブジェクトに関連するアクセス権限を管理することができます。お客様は、かかるアクセス権限について、割り当て、管理、および見直しを行う責任を全面的に負うものとします。

f. 監査報告

監視報告は、dashDB のコンソールを介してお客様に提供されます。お客様は、反映したアクティビティが許可されているかどうかを判断するために、報告書にアクセスし、解釈する責任を全面的に負うものとします。

g. 暗号化

「IBM SaaS」のデータベースは自動的に暗号化されます。暗号化には、256 ビット長の鍵を伴う、Cipher-Block Chaining (CBC) モードによる Advanced Encryption Standard (AES) が使用されます。また、データベースのバックアップ・イメージは、自動的に圧縮および暗号化されます。バックアップ・イメージは、256 ビット長の鍵を伴う、CBC モードによる AES を使用して暗号化されます。

3.9 IBM Data Science Experience

IBM Data Science Experience Enterprise は統合開発環境で、データ・サイエンティストがそれぞれの生産性を向上させることのできるツールや機能をまとめたスイートを提供します。

このオファリングにより、お客様は、管理対象 Spark などの IBM 付加価値を含む、構成済みの協業環境で RStudio および Jupyter ノートブックを使用してデータを分析できます。

RStudio はこのオファリングに組み込まれており、R と連携するための開発環境を提供します。

このオファリングは Jupyter ノートブックを提供します。これは、対話式コンピューティング用の Web ベース環境です。お客様は、データを処理するコードの小さい断片を実行してから、ノートブック内でその計算結果を表示することができます。

このオファリングには、「プロジェクト」も含まれています。これにより、お客様はノートブック、データ・セット、記事、および分析作業ストリームに関するコラボレーターのチームを順応させることができます。

このオファリングには 10 の「許可ユーザー使用許諾」が含まれます。

3.9.1 オプション・サービス

IBM Data Science Experience Enterprise Additional

このオファリングにより、お客様は、追加の「許可ユーザー」使用許諾を取得して、IBM Data Science Experience Enterprise に含まれているものを拡張できます。

3.9.2 ベータ機能

「IBM SaaS」の一部の機能、フィーチャーまたはコンポーネントは早期リリースまたはテクノロジーのプレビュー版で、「IBM SaaS」内で「ベータ」として特定されることがあります。(以下「ベータ機能」といいます。)これらの「ベータ機能」は、本項の制限および条件を前提として、「IBM SaaS」のお客様の許可された使用の一部として利用することができます。「ベータ機能」の使用はお客様自身の責任であり、いかなる種類のサポートの義務も伴わず提供されます。「ベータ機能」は、「現状有姿」で提供され、明示もしくは黙示のいかなる保証責任も負わないものとします。これには権原保証責任、権利の不侵害または不干渉に関する保証責任および商品性、特定目的適合性に関する黙示的保証または条件を含みますが、これに限定されません。「ベータ機能」は、IBM によって、製品もしくはオファリングとして、または製品もしくはオファリングに組み込まれて一般出荷可能になっていない場合があります。IBM は、いつでも事前の通知なく、「ベータ機能」へのアクセスを中止または終了することができます。お客様は、「ベータ機能」を使用できなくなった場合に起こりうるデータの損失を回避するため、予防措置を講じるものとします。IBM に対しお客様が提供した「ベータ機能」に関するフィードバックまたは提案は、IBM の製品およびサービスの開発、配布、展開および販売において、自由に使用、複製、変更でき、また組み込むことができます。

3.9.3 提供者の条件

お客様は、以下の提供者の条件に従って、「IBM SaaS」に「コンテンツ」を公開できます。

カタログ項目 – お客様が「IBM SaaS」への公開を望む「コンテンツ」に関連してお客様が指定した、「コンテンツ」の特性、ユース・ケース、発信元、ご利用条件、およびその他のフィーチャーを特定する、「コンテンツ」に関する情報をいいます。

コンテンツ – 本契約に基づいて「IBM SaaS」で公開される、データ、ソフトウェア、コード、テキスト、イメージ、テンプレート、フレームワーク、関連資料、メディア、文書をいいます。制限はありません。

エンド・ユーザー – 「IBM SaaS」からの「コンテンツ」へアクセスまたはそれを活用するユーザーをいいます。

提供者またはお客様 – 本契約に従って「IBM SaaS」へ「コンテンツ」を送信して公開する個人または法人をいいます。

a. 提供者の連絡先情報

IBM は、お客様が Bluemix のユーザーとして登録している場合、お客様が送信する連絡先情報を検証することができます。また、IBM は、お客様が公開する「コンテンツ」についてお客様とコミュニケーションを取るために、および「IBM SaaS」に関する情報をお客様に提供するために、お客様が提供する連絡先情報を使用できます。IBM は、お客様が本契約の条件に違反していると IBM が判断する場合、お客様の「IBM SaaS」へのアクセスおよび「IBM SaaS」へ公開するための機能を停止する権利を留保します。

b. コンテンツの公開

お客様は、お客様が「IBM SaaS」に公開する「コンテンツ」が分析の実施または促進に関連する目的に提供されることに同意します。

お客様は、お客様が「IBM SaaS」に公開される「コンテンツ」に関連する以下の条件を遵守することに同意します。

- (1) お客様または第三者にとって機密の情報を含む「コンテンツ」を公開しない。
- (2) 公開することについて事前に同意を得ることなく第三者に専有の情報が含まれる「コンテンツ」を公開しない。
- (3) 不法な、中傷的な、卑猥な、不正な、またはその他好ましくない「コンテンツ」やアクティビティーを含むインターネット・サイトに、「コンテンツ」を公開したり、お客様の「コンテンツ」からの当該インターネット・サイトへのリンクを含んだりしない。
- (4) 「医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律」(HIPAA) または「経済的および臨床的安全性のための医療情報技術に関する法律」(HITECH) で定義される、個人情報または「保護医療情報」を含む「コンテンツ」を公開しない。
- (5) 13 歳未満の幼児を対象とした「コンテンツ」を公開しない。
- (6) ウィルス、ワーム、欠陥、トロイの木馬、破損ファイル、その他の有害なアイテムや虚偽のアイテムを公開しない。
- (7) 特許権、商標権、著作権、営業秘密、またはいずれかの当事者のその他の権利で保護される「コンテンツ」(写真、イメージまたはグラフィックを含みますがこれらに限定されません。)を公開しない。第三者の権利者によって要求される場合は、「コンテンツ」の当該部分に対する著作権または商標権表示を行う。
- (8) これらの条件または適用される法律や規制に違反する「コンテンツ」を公開しない。
- (9) 別の人の名前を使用したり、あるいはお客様や「コンテンツ」のソースを不実表示したりしない。
- (10) 間違っ表示される「コンテンツ」を公開したり、かかる「コンテンツ」が IBM の後援または承認を受けていることを示唆したりしない。

「IBM SaaS」への公開をお客様が望む「コンテンツ」の各アイテムについて、お客様は「カタログ項目」を完了する必要があります。

IBM は、お客様の「カタログ項目」およびお客様の「コンテンツ」を確認することができ、「IBM SaaS」上での公開を継続するためにお客様による修正を要求する権利を留保します。

お客様は、「IBM SaaS」に「コンテンツ」を公開することにより、お客様の「カタログ項目」へのパブリック・アクセスおよびお客様の「コンテンツ」へのアクセスを、当該「コンテンツ」に関する

る「IBM SaaS」の条件の下で、お客様が「エンド・ユーザー」に付与することになることに同意し、それを了承します。

お客様は IBM に、お客様の「コンテンツ」のマーケティングおよび宣伝に関連して、お客様の「コンテンツ」に含まれるか、「IBM SaaS」を通じて IBM に提供されるロゴ(以下「提供者のマーク」といいます。)としてお客様の商標を表示することのできる、非独占的且つ使用料を要しないライセンスを付与します。お客様は、お客様が「提供者のマーク」の所有者または許諾ライセンサーであることを表明します。お客様および IBM の間では、「提供者のマーク」に関連するすべてののれんはお客様の利益のために効力を生じます。IBM は、「提供者のマーク」の全体的な外観を変えることなく、必要に応じて「提供者のマーク」の形式またはサイズを変更することができます。

お客様は、特許、著作権、商標のあらゆる権利、および「IBM SaaS」に関するその他のすべての知的所有権は引き続き IBM およびそのサプライヤーに帰属することに同意します。

c. エンド・ユーザーへのライセンス

お客様および IBM の間では、お客様は、お客様の「コンテンツ」を「エンド・ユーザー」が利用できるようにすること、およびお客様の「コンテンツ」についてライセンスを付与するか、その他の方法で権利を付与することについて全責任を負います。かかるライセンスは直接お客様と「エンド・ユーザー」の間のものであり、IBM に対していかなる義務または責任も発生させるものではありません。

お客様は、お客様と「エンド・ユーザー」の間のライセンスには、少なくとも、「エンド・ユーザー」(プラットフォームのプロバイダーとしての、および「エンド・ユーザー」としての IBM を含みます。)に、「コンテンツ」または「コンテンツ」の一部を、商業目的や非商業目的で、編集、コピー、複製、公開、宣伝目的の表示や実行、フォーマット設定、変更、二次的著作物の作成、翻訳、翻案、再使用許諾および配布できる、非独占的且つ取り消し不能の全世界にわたる支払い済みの使用権を許諾する条件が含まれることに同意します。

お客様は、お客様の「コンテンツ」に関して「エンド・ユーザー」にサポートを提供することについて責任を負います。

d. 保証

お客様は以下を表明して保証します、(a) お客様が「コンテンツ」のすべてを所有していること(および「コンテンツ」に関する十分な権利、権原および権益を有していること)、またはお客様が所有していない「コンテンツ」の部分に関して本契約において付与されるライセンスおよびその他の権利を付与するために必要な、書面によるすべてのリリース、許可およびライセンスをその他の所有者から取得済みであること。(b) 「コンテンツ」が第三者の著作権、特許権、その他の知的財産権、プライバシー、その他の権利を侵害していないこと、またお客様に対して、またはお客様がかかる権利を取得した相手である法人に対して、かかる侵害についての請求のおそれがあるか、主張されないこと、および未解決の請求がないこと。(c) 「コンテンツ」にはウィルスや有害コードが含まれていないこと。(d) 「コンテンツ」には、お客様や第三者の機密情報や営業秘密が含まれていないこと。および(e) 「コンテンツ」が公開投稿に合法的配布に対して適格ではない、または適格ではなくなった場合、お客様は即座に IBM (xxhlq2ug@incoming.intercom.io) に通知すること。

e. 補償

お客様は、あらゆる請求や要求(合理的な弁護士費用を含みます。)について、IBM およびその子会社、関連会社、役員、代理人、コーブランダー、その他のパートナー、従業員を補償し、保護します。ここでいう請求や要求には、(i) お客様が「IBM SaaS」に送信または公開する「コンテンツ」に起因して第三者が起こしたものの、(ii) 本契約のお客様による違反、または(iii) その他の権利のお客様による違反が含まれます。

IBM およびお客様の間では、お客様の「コンテンツ」に対して全責任を持つのはお客様であって、IBM ではありません。お客様は、お客様の「コンテンツ」やお客様の「コンテンツ」の使用に起因するあらゆる請求については、IBM ではなく、お客様が責任を負うことを了承します。これには、以下について申し立てのあった違反が含まれますが、これらに限定されません。(a) 当事者の法的権利または知的財産権、もしくは(b) いずれかの国の制定法、規制または法律。

f. 責任の制限

IBM は「IBM SaaS」に公開された「コンテンツ」に対して責任を負いません。提供者は、提供者が公開する「コンテンツ」に対して引き続き全責任を負います。

IBM は、「IBM SaaS」への「コンテンツ」の公開について、いかなる直接損害、間接損害、特別損害、その他の結果的損害にも、たとえかかる損害の可能性が知らされていた場合であっても、責任を負いません。これには、逸失利益、節約すべかりし費用、ビジネスの中断、プログラムおよびデータの損失、付随的損害、特別損害、その他の経済的結果的損害が含まれますが、これらに限定されません。

IBM は明示的にも黙示的にも一切の保証を行いません。これには、「IBM SaaS」上で公開された「コンテンツ」に関する、非侵害の保証、および商品性、特定目的適合性に関する黙示の保証が含まれますが、これらに限定されません。IBM には、「コンテンツ」の技術サポートを提供する義務はありません。

g. 事業活動の自由

お客様は、IBM にはいかなる形あれ、「コンテンツ」(または「コンテンツ」の一部)を使用、投稿、投稿状態を維持する義務がないことを了解し、それに同意します。IBM は自らの判断で、理由に関係なく、通知することなく、「IBM SaaS」を中止したり、アクセスを制限、中止したり、「IBM SaaS」から「コンテンツ」を削除できます。お客様は、IBM が「コンテンツ」の投稿または使用に関してお客様を補償しないことを理解します。

h. 通知の回答

IBM は、「IBM SaaS」を監視する権利を留保しますが、その義務はありません。IBM は、自らの裁量で、「コンテンツ」を拒否したり、以前に公開された「コンテンツ」を削除する権利も保持しています。

IBM は、「Digital Millennium Copyright Act Notices (デジタル・ミレニアム著作権法に関する注意)」に準拠する、申し立てのあった著作権侵害の通知に回答します。詳細については、「Digital Millennium Copyright Act Notices (デジタル・ミレニアム著作権法に関する注意)」を参照してください。

3.10 IBM Bluemix Data Connect

IBM DataWorks はクラウド・ベースの完全に管理されたデータ準備・移動サービスで、アナリスト、開発者、データ・サイエンティストおよびデータ・エンジニアがデータを活用できるようにします。DataWorks により、技術ユーザーおよび非技術ユーザーは、アプリケーション開発や分析に関するユース・ケースの支援として、データを発見、クレンジング、標準化、変換、ならびに移動することができます。

3.10.1 IBM Bluemix Data Connect Personal

「インスタンス」ごとに、1 か月当たり 100 アクティビティーの実行または最大 1 TB のアウトバウンド・データ帯域幅。アウトバウンド帯域幅は、ターゲットにコピーされたデータ量として定義されます。

3.10.2 IBM Bluemix Data Connect Professional

「インスタンス」ごとに、1 か月当たり 500 アクティビティーの実行または最大 5 TB のアウトバウンド・データ帯域幅。アウトバウンド帯域幅は、ターゲットにコピーされたデータ量として定義されます。

3.10.3 IBM Bluemix Data Connect Enterprise

「インスタンス」ごとに、1 か月当たり 5000 アクティビティーの実行または最大 50 TB のアウトバウンド・データ帯域幅。アウトバウンド帯域幅は、ターゲットにコピーされたデータ量として定義されます。

3.10.4 セキュリティー情報

プライバシー・シールド

本「IBM SaaS」は、IBM プライバシー・シールド認定に含まれ、お客様が「IBM SaaS」を米国に在るデータセンターでホスティングされることを選択した場合に IBM の「Privacy Shield Privacy Policy」(http://www.ibm.com/privacy/details/us/en/privacy_shield.html) に掲載) が適用されます。

3.11 IBM Streaming Analytics

本オファリングでは、リアルタイム・データ・ソースからのデータ受信時にお客様がそのデータを取り込み、分析し、モニターし、関連付けることができます。単一のストリーム・ノード・インスタンスは、1 CPU、4 コア、12 GB RAM および 25 GB ディスクを備えた仮想サーバーになります。

3.11.1 セキュリティー情報

プライバシー・シールド

本「IBM SaaS」は、IBM プライバシー・シールド認定に含まれ、お客様が「IBM SaaS」を米国に在るデータセンターでホスティングされることを選択した場合に IBM の「Privacy Shield Privacy Policy」(http://www.ibm.com/privacy/details/us/en/privacy_shield.html に掲載) が適用されます。